W62K
by KYOCERA
USBドライバインストールマニュアル

もくじ

本書は、「W62K」とパソコンをUSBケーブルWIN（0201HVA）（別売）を使用して接続し、インターネット通信や同梱のCD-ROMの各種ツールをご利用になるための「USBドライバ」のインストール方法を説明しています。

■インストール／アンインストールする場合は、Administrator（管理者）権限のあるユーザーアカウント（利用者資格）で作業をしてください。詳しくはWindowsのヘルプを参照してください。

※ ユーザーアカウントは、次の手順でご確認いただけます。

・Windows Vistaの場合： [スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]→[ユーザーアカウント]

・Windows XPの場合： [スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]

※ 本書の画面はWindows Vistaパソコンのもので、機種により異なる場合があります。Windows XPについても、同様の操作でパソコンにUSBドライバをインストールすることができます。

●本製品の使用環境は以下のとおりです。

OS	Microsoft® Windows® XP/Windows Vista®32ビット版の各日本語版がプリインストールされているパソコン（アップグレードされた場合は動作保証いたしません）
CPU	Intel® Pentium® Ⅱプロセッサ300MHz以上、または同等の性能を有する互換CPU
USBポート	USB1.1以上
ハードディスク	10MB以上の空き容量

●本書内で使用されている表示画面は説明用に作成されたものです。

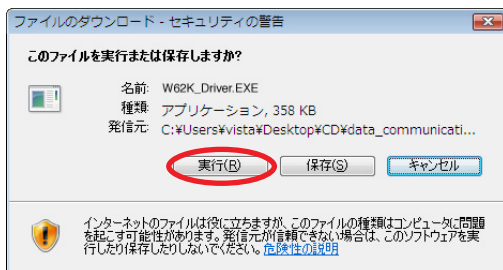
●本書は、お客様がWindows®の基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

USBドライバをインストールする

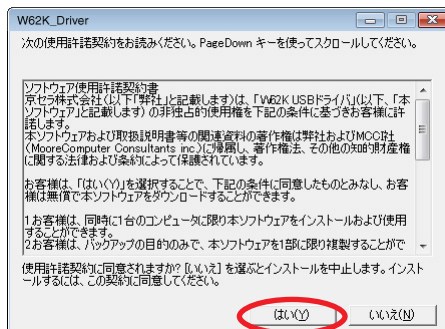
インストールが完了するまでW62Kをパソコンに接続しないでください。

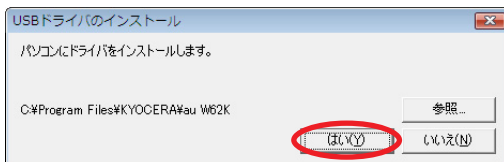
1. 付属のCD-ROMからインストールする場合は、CD-ROMトップ画面から[データ通信ツール]→[USBドライバ]→[インストール開始]をクリックします。

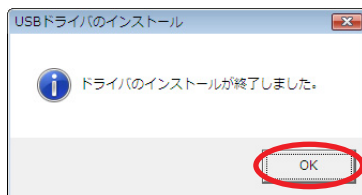
2. “ファイルのダウンロード”画面で［実行］をクリックしてください。

   引き続き、セキュリティの警告画面が表示された場合は［実行する(R)］をクリックしてください。

3. W62Kとパソコンが接続されていないことを確認後、［はい（Y）］をクリックします。

4. ソフトウェア使用許諾に同意される場合は、［はい（Y）］をクリックします。“USBドライバのインストール”画面が表示されます。

   Windows Vistaの場合はユーザーアカウント制御画面が2回表示されます。それぞれの画面で[許可(A)]、[続行(C)]をクリックしてください。

［はい（Y）］をクリックします。

ドライバのインストールが始まります。

5. 右の画面が表示されましたら、USBドライバのインストールが完了です。[OK] をクリックしてください。

   ドライバのインストールが正常に行われていることをご確認ください（「接続状態を確認する」4ページ）。

● パソコンに接続する

1. USBケーブルWIN（0201HVA）（別売）をパソコンに接続します。

2. W62Kの電源を入れ、待受画面が表示されたあと、USBケーブルをW62Kに接続します。

3. W62Kに「USB通信モード選択」画面が表示されます。「外部メモリ転送モード」または「データ通信モード」を用途に合わせて選択します。

● 接続状態を確認する

■データ通信モードを選択した場合

1. コントロールパネルを開きます。

●Windows Vistaの場合
[スタート]→[コントロールパネル]→[システムとメンテナンス]の順にクリックします。

●Windows XPの場合
[スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]の順にクリックします。

2. デバイスマネージャを開きます。

●Windows Vistaの場合
[デバイスマネージャ]をクリックしてください。警告画面が表示されますので、[続行(C)] をクリックします。

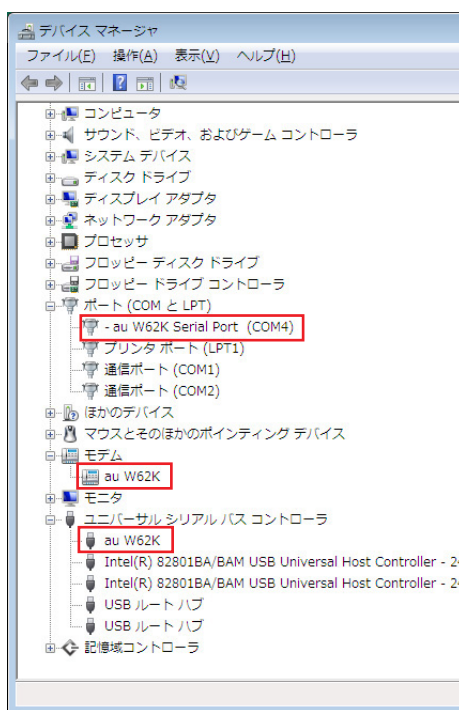
●Windows XPの場合
[ハードウェア] タブにある[デバイスマネージャ]をクリックしてください。

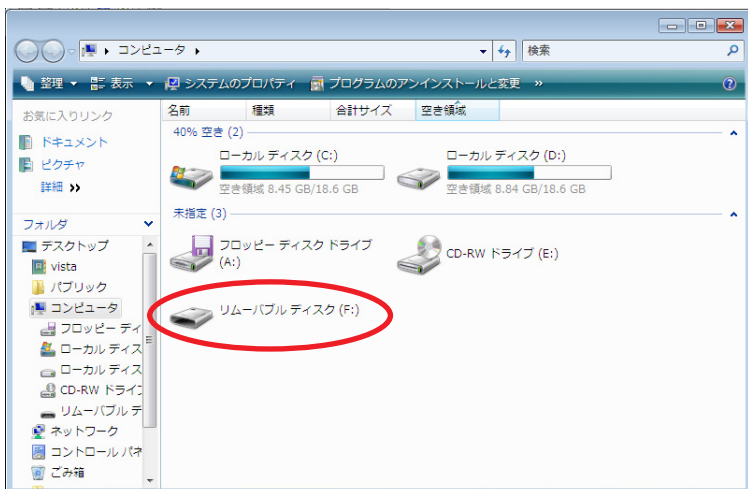
3. インストール後、デバイスマネージャ上にて右のように認識・表示されていれば、インストールは正常に行われています。

- “ポート（COMとLPT）”を展開して“-au W62K Serial Port”が表示される。
- “モデム”を展開して“au W62K”が表示される。
- “USB（Universal Serial Bus）コントローラ”を展開して“au W62K”が表示される。

※ デバイスマネージャで表示されない場合や“？”マークが表示されている場合には、USBドライバの再インストールを実行してください。

※デバイスマネージャの上部メニューの[表示]設定を[デバイス(種類別)]にしてください。

※COMの番号はパソコンの環境によって異なります。

■外部メモリ転送モードを選択した場合

1. パソコンの“コンピュータ”（Windows XPの場合は“マイ コンピュータ”）を開いて「リムーバブル ディスク」が表示されることを確認してください。

USBドライバをアンインストールする

USBドライバが正常にインストールできない場合や、USBドライバならびにW62Kが正常に認識されていない場合には、USBドライバの再インストール（一度削除してからインストール）を行ってください。

- **編集中のファイルや他のソフトウェアを開いているものがありましたら、あらかじめデータを保存し、終了しておいてください。**
- **W62KからUSBケーブルを外してください。**

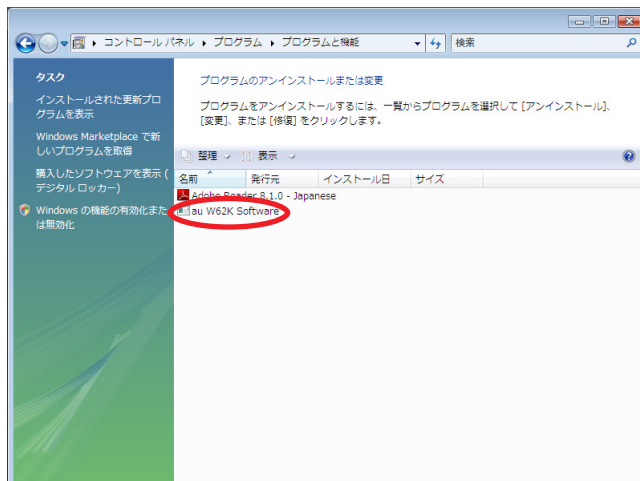
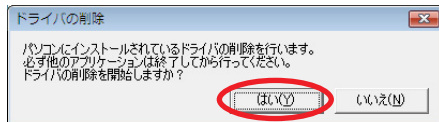
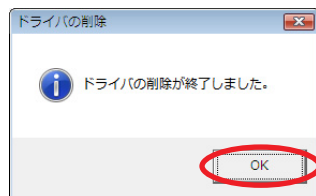
1. コントロールパネルを開きます。

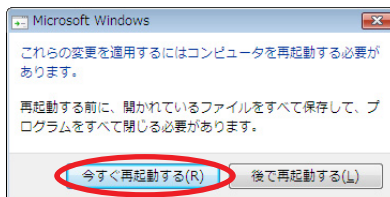
●Windows Vistaの場合
Windowsの[スタート]→[コントロールパネル]→[プログラム]の中にある[プログラムのアンインストール]をクリックしてください。

●Windows XPの場合
[スタート]→[コントロールパネル]→[プログラムの追加と削除]の順にクリックします。

2. アンインストールを行います。

●Windows Vistaの場合
一覧から［au W62K Software］を右クリックし、[アンインストールと変更]をクリックします。引き続きユーザーアカウント制御画面が表示されることがあります。[続行]をクリックしてください。

●Windows XPの場合
“au W62K Software”を選択し、［変更と削除］をクリックすることで、“USBドライバ”の削除が開始されます。

3. USBドライバの削除を確認する画面が表示されますので、[はい(Y)]をクリックします。

4. 右の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。

5. パソコンの再起動の実行を促す画面が表示されますので、起動している他のアプリケーションをすべて終了させ、パソコンからUSBケーブルが外れていることを確認してから、[今すぐ起動する(R)](Windows XPの場合は[はい(Y)])をクリックします。パソコンが再起動されます。

再起動後、CD-ROMをパソコンにセットし直してUSBドライバのインストールを行ってください。

コマンドリファレンス

ATコマンド

ATコマンドの入力方法

ATコマンドは、“AT”に続いて“コマンド”と“パラメータ”を入力する。
（例）ATE1（コマンドエコーを有りに設定する）

コマンド	機能	説明（*は初期値）
A/	コマンドの再実行	直前のATコマンドを再度実行する
ATD	ダイヤル	オフフックし電話番号をダイヤルする
ATEn		コマンドエコー有無の設定 n=0　コマンドエコーしない n=1* コマンドエコーする
ATP	パルスダイヤル選択	パルスダイヤルを選択
ATQn	リザルトコードの制御	n=0* リザルトコードを返す n=1　リザルトコードを返さない
ATVn	リザルトコードの選択	n=0　数字形式 n=1* 文字形式
ATZ	ソフトウェアリセット	工場出荷状態に初期化する
AT&Cn	CF（DCD）信号の制御	n=0　常時ON n=1* 相手モデムのキャリアを検出したときON
AT&Dn	CD（DTR）信号の制御	n=0　CD信号を無視して、常時ON とみなす n=1　CD信号OFFによりオンラインコマンド状態へ移行 n=2* CD信号OFFにより回線を切断しオフラインコマンド状態へ移行
AT&F	工場出荷時設定への初期化	各種コマンドのパラメータ値やSレジスタの内容を工場出荷時に戻す

Sレジスタ

Sレジスタの設定方法

“AT”に続いて“Sn ＝ X”を入力する。（n:レジスタ番号、X:設定値）

Sレジスタ参照方法

“AT”に続いて“Sn?”を入力する。設定値が表示される。（n:レジスタ番号）

レジスタ	機能	初期値	設定範囲
S3	CR キャラクタコードの設定	13	13のみ
S4	LF キャラクタコードの設定	10	10のみ
S5	BS キャラクタコードの設定	8	8のみ

リザルトコード一覧

数字	文字	説明
0	OK	コマンドを正常完了
1	CONNECT	相手モデムと接続
3	NO CARRIER	キャリアが検出できない
4	ERROR	コマンドエラー
29	DELAYED	発呼規制中